

IV. 担 当 教 員 及 び 主 な 授 業 科 目

平成30年6月1日現在

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures

☎ 03-5978- (下記☎参照)

国際日本学領域 Japanese Studies in a Global Perspective

担 当 教 員 Position Name	授 業 科 目 Main Subject	研 究 テ ー マ 又 は 研 究 分 野
教授 ○ ☎ (5204) OTSUKA Tsuneki	日本現代言語文化論 Japanese Cotemporary Literature and Culture	【近現代詩及び文学論】これまでの研究対象は、宮沢賢治を中心に、朔太郎、光澤、中野等の詩人と、梶井基次郎。私の目指す研究方法は、表現構造（レトリックやナラトロジー、トポス等）の分析と、文化的社会的時代背景による裏付けです（人文学的な作家論は扱いません）。指導学生には、テキスト論やナラトロジーの意識的な学習と、様々な時代資料の綿密な調査を要求しています。 e-mail: otsuka.tsuneki@ocha.ac.jp
教授 ◎ ☎ (5183) FURUSE Natsuko	日本文化基層論 The Basic Structure of Japanese Culture	【日本古代史】奈良・平安時代において、天皇を頂点とする政治システムが、中国の影響を受けてどのように成立し、変容していくかを、太政官・蔵人所などの政治機構や天皇を中心とした儀式などの解明を通じて考察する。 e-mail: furuse.natsuko@ocha.ac.jp
教授 ◎ ☎ (5194) KAGAMI Tomiyo	多文化間心理学研究 Multicultural Psychology	【多文化間心理学】異文化間コミュニケーションで生じた葛藤を規定する諸要因を解明するとともに、言語教育及び心理教育的援助に関連する理論と方法論を探索する。 e-mail: kagami.tomiyo@ocha.ac.jp
教授 ☎ (5691) MORIYAMA Shin	応用言語学研究 Applied Linguistics	【応用言語学】最近注目浴びつつある認知言語学の知見などを取り入れながら、第二言語としての日本語習得のメカニズムを探り、あわせて教材開発や教授法など日本語教育への応用可能性について考える。 e-mail: moriyama.shin@ocha.ac.jp
教授 ☎ (5199) ASADA Toru	日本中世言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Kamakura and Muromachi Periods	【日本中世文学】平安末期から近世初期までの和歌を中心に、社会の中にシステムとして組み込まれた文芸のありかた（「動機和歌集」「歌道集」「古今伝授」等）を考察する。その他諸ジャンルにおける秘伝の成立などに関心を持っている。 e-mail: asada.toru@ocha.ac.jp
教授 ☎ (5797) MIYAUCHI Takahisa	日本民俗文化論 Japanese Folk Culture	【日本民俗学、文化人類学】日本の民俗文化、主として建築文化と住生活について関心がある。特に日本における風土の受容について取り組んでいる。また、口頭伝承だけでなく、書籍、出版、読書生活、リテラシーを通して生活文化の中における文学文化の位相についても研究を進めている。 e-mail: miyauchi.takahisa@ocha.ac.jp
教授 ☎ (5182) KANDA Yutsuki	日本近世史研究 Japanese Modern History	【日本近世史】近世の都市や地域社会の構造を、芸能興行など文化的活動の場という視点から捉え直そうとしている。特に、都市や市場に集まる芸能民や商人、遊女、俠客などの集団に関心がある。 e-mail: kanda.yutsuki@ocha.ac.jp
教授 ※ ☎ (5264) MIZUMURA Mayumi	舞踊文化分析論 Cultural Analysis of Dancing	【身体運動科学】舞踊を含む身体運動全般を、生理学およびバイオメカニクスの手法により調査している。トレーニングや練習といったくり返しの運動によって、身体諸機能や動作が変容する可能性に関心をもっている。 e-mail: mizumura.mayumi@ocha.ac.jp
准教授 Professor ☎ (5200) MATSUOKA Tomoyuki	日本中古言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Heian Period	【日本中古文学】『源氏物語』をはじめとする物語文学を中心に、中古文学（平安時代の文学）を研究している。言葉相互の関係に着目した作品解説を主眼とし、社会・制度の歴史や仏教思想と文学作品との関係なども追究している。 e-mail: matsuoka.tomoyuki@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ☎ (5206) TANIGUCHI Sachiyo	日本近代言語文化論 Japanese Modern Literature and Culture	【日本近代文学】近代の日本文学における日本の古美術の受容とその影響を研究している。特に川端康成の文学における古美術の受容とその変容過程に関心がある。 e-mail: taniguchi.sachiyo@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ☎ (5334) NISHIKAWA Tomomi	第二言語習得論 Second Language Acquisition	【第二言語習得】大人・子どもの第二言語習得のメカニズムの解明を目指すとともに、その研究成果の日本語教育への応用を考える。 e-mail: nishikawa.tomomi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ☎ (5203) TAKEMURA Asuka	日本語分析論 Analysis of Japanese Language	【日本語史】キリシタン資料や方言資料を用いて、日本語の変遷（主に音韻）について研究している。方言では近畿方言で書かれた上方落語を中心に扱い、語彙・文法に関しても考察している。また、中近世の能楽資料にみえる発音指南の記述にも関心がある。 e-mail: takemura.asuka@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ☎ (5167) MIYASHITA Satoko	文化思想分析論 Japanese Culture and Thought	【倫理学】倫理と心理と宗教の接点を探るというテーマのもと、人間のあり方について人間の内面と超越的次元との関わりにおいて考察している。主として、ユング、フランク、フロム、キューブラー＝ロスといった精神科医、心理学者の思想を研究対象としているが、上記のテーマに関わる思想であれば、洋の東西を問わず、研究対象となり得る。 e-mail: miyashita.satoko@ocha.ac.jp
講師 Lecturer ☎ (5202) FUJIKAWA Reman	日本近世言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Edo Period	【日本近世文学】秋里藩島を中心に、近世中後期上方の文学とこれに関わる出版文化について研究している。 e-mail: fujikawa.reman@ocha.ac.jp
講師 Lecturer ☎ (5213) KANO Naomi	多言語多文化教育研究 Issues in Language and Literacy Education for Multilingual Learners	バイリンガル教育を必要とする学習者の言語教育について、特にリテラシー教育を中心に検討し、日本語教育への応用を考える。 e-mail: kano.naomi@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor ☎ (5178) OYABU Umi	日本宗教社会史論 Japanese Historical Society and Religion	【日本中世史】権力による支配構造の解明に取り組んでいる。朝廷や幕府といった中央権力に限定せず、地域権力も検討の対象とし、中央と地域との繋がりにも注目している。 e-mail: oyabu.umi@ocha.ac.jp
言語文化論領域 Language, Literature, and Culture		
教授 ○ ☎ (5216) MIYAO Masaki	中国近代文学論 Modern Chinese Literature	【中国現代文学】民国初年（清末も含む）から現代に至るまでの中国文学を、主として文学言語の変容という観点から検討する。また、女性、学校、革命等の様々な言説の文学における現れについても考える。 e-mail: miyao.masaki@ocha.ac.jp
教授 ※ ◎ ☎ (5219) ITO Mieko	中国民間文化論 Chinese Folk Culture	【唐代俗文学研究】中国唐代の民間の文芸について、主に敦煌出土資料（敦煌文書）を用いて研究している。 e-mail: ito.mieko@ocha.ac.jp
教授 ☎ (5223) MATSUZAKI Takeshi	テキスト文化論 Text Culture	【17世紀イギリス文学】詩を中心とする17世紀のテキストを、政治的・宗教的・社会史的文脈に即して分析するとともに、ジャンル・検閲・読者層等のテキストを取り巻く文化との関連において読み直す作業を行っている。 e-mail: matsuizaki.takeshi@ocha.ac.jp
教授 ☎ (5217) WADA Hidenobu	中国言語芸術・批評論 Literary Criticism of China	【中国古典文学】中国の詩と詩論について、とくに文学理論の表現形式に着目したアプローチを模索している。 e-mail: wada.hidenobu@ocha.ac.jp
教授 ☎ (5225) TOTANI Yoko	アメリカ言語文化論 American Language and Culture	【現代アメリカ演劇・パフォーマンス研究】現代アメリカ演劇・舞台芸術を対象にパフォーマンス研究の視点から研究。芸術実践および表象のポリテクスと社会との関わりに興味をもち、公共の文化芸術政策や制度との関わりにおいて分析。 e-mail: totani.yoko@ocha.ac.jp
教授 ○ ☎ (5231) SHIMIZU Tetsuro	表象文化論 Culture and Representation	【イギリス初期近代演劇】16世紀・17世紀の詩と演劇文化が抱える諸問題を、社会史的・精神的・文学史的観点を取り入れつつ研究している。近年、とくに16世紀末の古典文学受容と異教文化表象の問題解明に取り組んでいる。 e-mail: shimizu.tetsuro@ocha.ac.jp
教授 ☎ (5226) Diane Hawley Nagatomo	第二言語（英語）教育論 Second Language (English) Education Theory	【英語教育論】Investigating issues surrounding identity, beliefs, and practices of second language teachers. e-mail: hawley.diane.edla@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ☎ (5228) NOGUCHI Tohru	文法理論 Grammatical Theory	【文法理論】生成文法理論に基づき、統語論、意味論、形態論の諸分野の特性及び各部門間の関係を明らかにする。より具体的には、照応の問題を中心的な研究テーマとしている。 e-mail: noguchi.toru@ocha.ac.jp

（注1）◎は、平成31年度末をもって退職予定であり、○は平成32年度末をもって退職予定である教員である。

なお、平成30年度末（平成31年3月31日付け）で定年退職予定の教員は記載されていない。

（注2）※は、領域代表である。

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures			03-5978-（下記参照）
言語文化論領域 Language, Literature, and Culture			
担 当	教 員	授 業 科 目	研 究 テ ー マ 又 は 研 究 分 野
Position	Name	Main Subject	
准教授 Associate Professor	伊藤 さとみ ITO Satomi ☎(5218)	中国語圏言語文化論 Chinese Linguistics	【中国語学】現代中国語の文法を形式言語学の視点から研究している。主なテーマは、疑問詞の照応的用法、形容詞の意味論、選択疑問文の研究など。 e-mail: ito.satomi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	中西 公子 NAKANISHI Kimiko ☎(5222)	形式意味論 Formal Semantics	【意味論・語用論】人間が言語の意味を理解する仕組みを、「語の意味と文の意味の関係」と「文の意味と談話の関係」の考察を通して明確にする。諸言語の比較に基づき言語の普遍的特徴を探る一方で、個別言語の理解にも努める。 e-mail: nakanishi.kimiko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	山腰 京子 YAMAKOSHI Kyoko ☎(5224)	第一言語習得論 First Language Acquisition	【第一言語習得】生成文法理論に基づき、主に子供の母語習得の仕組みを探る。主なテーマは疑問文、数量詞、受身と使役など。 e-mail: yamakoshi.kyoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	高桑 晴子 TAKAKUWA Haruko ☎(5227)	イギリス言語文化論 Language and Culture of Britain	【イギリス・アイルランド小説】極めて近代的な文学形態である小説というジャンルを文化的・社会的文脈において分析する。19世紀のイギリスおよびアイルランド小説を主にネイションとジェンダーという文脈で研究中。 e-mail: takakuwa.haruko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	小松 祐子 KOMATSU Sachiko ☎(5239)	仏語圏比較文化論 Francophone Cultures	【フランス語圏言語文化研究・フランス語教育学】フランス語圏の言語文化をフランス語の言語政策・教育学とあわせて研究している。近年はとくに北米フランス語圏・ベルギーを中心に研究中である。 e-mail: komatsu.sachiko@ocha.ac.jp
比較社会論領域 Comparative Social Studies			
教授 Professor	新井 由紀夫 ARAI Yukio ☎(5177)	西洋中世史研究 Studies of Western Medieval History	【イギリス中世史】14・15世紀の政治社会の在り方。とりわけ土地保有階層であるジェントリの社会的結合関係や、メンタリティー、中世ヨーロッパ古書体字などに関心がある。 e-mail: arai.yukio@ocha.ac.jp
教授 Professor	安成 英樹 YASUNARI Hideki ☎(5181)	西洋近世史研究 Studies of Western Modern History	【フランス近世史】絶対王政期のフランス社会をフィールドとして、前近代ヨーロッパの政治的、社会的、国際的な特質を広く考究する。 e-mail: yasunari.hideki@ocha.ac.jp
教授 Professor	新名 謙二 NIINA Kenji ※ ☎(5268)	比較スポーツマネジメント論 Comparative Sports Management	【比較スポーツマネジメント論】スポーツ施設やスポーツ団体におけるマネジメント課題について、地域の比較あるいは時間的比較という視点からの分析を行う。 e-mail: nina.kenji@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	三浦 謙 MIURA Ken ☎(5164)	認識論・知識の哲学 Epistemology	【科学哲学】哲学における認識論と、科学における方法論や理論形成の過程をもとに、認識や知識の根拠付けや限界についての問題を研究している。 e-mail: miura.ken@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	中野 裕考 NAKANO Hirotaka ☎(5165)	西洋近代哲学 Western Modern Philosophy	【西洋近代哲学】カントを中心に、17・18世紀の西洋哲学において、知覚、認識、自己等の主題に関して、現代哲学の源流を探っている。 e-mail: nakano.hirotaka@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	戸川 貴行 TOGAWA Takayuki ☎(5176)	東アジア古代史研究 Studies on Ancient History of East Asia	【東アジア古代史研究】漢唐間の中国を中心として、古代東アジアの政治文化、国際秩序等の展開を新たな視点からとらえ直す。 e-mail: togawa.takayuki@ocha.ac.jp
(教授)	棚橋 訓	文化構造論 Cultural Structures	担当専攻「ジェンダー学際研究専攻」ジェンダー論領域 比較文化ジェンダー論に同じ。
表象芸術論領域 Arts and Representational Studies			
教授 Professor	永原 恵三 NAGAHARA Keizo ※ ○ ☎(5275)	音楽文化論 Cultural Musicology	【音楽学】音楽を人間の豊かな営みと捉え、音楽の美的および社会的存在の多様な様相に関して、パフォーマンスの行われる場を中心にして研究するとともに、現代の音楽文化が提示している諸問題を検討する。 e-mail: nagahara.keizo@ocha.ac.jp
教授 Professor	天野 知香 AMANO Chika ☎(5170)	西洋美術論 Studies of Western Art History	【西洋美術史】特に十九世紀後半から二十世紀前半にかけてのフランス美術と装飾芸術を中心に、社会における芸術の概念の位相とその変化をとらえながら、作品を取り巻く制度や批評的言説を考察し、個々の作品を分析する。フェミニズム美術史、視覚表象分析理論。 e-mail: amano.chika@ocha.ac.jp
教授 Professor	小坂 圭太 KOSAKA Keita ☎(5278)	器楽演奏論 Instrumental Music	【ピアノ演奏】ピアノという西欧近代特有の思考を体現するような楽器の演奏を通じ、「古典」の概念の検証を行うと同時に、ほとんど西欧化と同義語になっている今日の文化の「グローバル化」について考察する。 e-mail: kosaka.keit@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	鈴木 禎宏 SUZUKI Sadahiro ☎(5298)	比較文化論 Comparative Study of Culture	【比較文化論】「比較文化論」という方法論を構築する一方で、それをを用いた文化的事象の解明を目指す。 e-mail: suzuki.sadahiro@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	中村 美奈子 NAKAMURA Minako ☎(5269)	民族舞踊論 Ethnic Dances	【民族舞踊学】インドネシア（バリ島）の舞踊を中心に、日本を含むアジア地域の民族舞踊の調査・研究を主な領域としている。理論と実践の両面からのアプローチを行い、舞踊記譜法などの分析手法を用いた舞踊の比較分析に関心を持っている。 e-mail: nakamura.minako@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	難波 知子 NAMBA Tomoko ☎(5800)	服飾文化資源論 Costume and Cultural Resources	【日本服飾史】特に明治以降の服飾変遷に着目し、洋服の導入・普及とともに生じた和服の再編成・再解釈など、服飾をめぐる近代的な価値観や生活様式の形成を明らかにする。 e-mail: namba.tomoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	井上 登喜子 INOUE Tokiko ☎(5281)	音楽表象論 Historical Musicology	【音楽学】音楽が社会の中でどのように伝播・普及し、それがどのような意味を持つのかという音楽受容の問題に関して、近代ドイツと日本、そして今日のグローバル社会における西洋音楽受容を中心に、歴史的、実証的に考察する。 e-mail: inoue.tokiko@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor	福本 まあや FUKUMOTO Maaya ☎(5265)	舞踊表現論 Theory of Dance Expression	【舞踊表現論】舞踊の教育的意義、社会的意義に関する既存の研究に整理・再検討を加え、そこから新たな研究課題と研究方法を創出し、人間と舞踊の関わりを複眼的に考察する。 e-mail: fukumoto.maaya@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor	土谷 真紀 TSUCHIYA Maki ☎(5169)	比較芸術論 Comparative Study of Art	【日本美術史】日本中世における絵画を中心に、作品の生成と享受の問題について物語、宗教といった視点から考察を行う。 e-mail: tsuchiya.maki@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor	新實 五穂 NIIMI Iho ☎(5802)	西洋服飾論 Western Dress Cultures	【西洋服飾史】19世紀フランスを中心に、ひとが服を身に着ける意味および服装における社会表象に関して分析し、人間の営みや時代の心性を明らかにすることを旨とする。 e-mail: niimi.iho@ocha.ac.jp

(注1) ◎は、平成31年度末をもって退職予定であり、○は平成32年度末をもって退職予定である教員である。

なお、平成30年度末(平成31年3月31日付け)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) () は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。

人間発達科学専攻 Human Developmental Sciences		03-5978-（下記参照）	
教育科学領域 Educational Sciences			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 米田 俊彦 Professor YONEDA Toshihiko ※ 〇 (2554)	教育史論 History of Education	【教育制度・政策史】近・現代日本の教育制度の変遷、あるいは教育制度改革をめぐる論議や意思決定過程を対象とする制度・政策史研究や、制度・政策の浸透ないし実現過程の分析としての実証史研究を進めている。 e-mail: yoneda.toshihiko@ocha.ac.jp	
教授 池田 全之 Professor IKEDA Takeyuki (5243)	比較教育思想史論 Philosophy of Education	【教育哲学】18世紀以降のドイツにおける人間形成論、とりわけ、ドイツ観念論や実在哲学やフランクフルト学派の思想を中心に、近代社会と理性の運命、そこから派生する人間的自由の成立条件や美の救済機能の検討を進めている。 e-mail: ikeda.takeyuki@ocha.ac.jp	
教授 浜野 隆 Professor HAMANO Takashi (5248)	国際教育開発論 International Development and Education	【国際教育開発・協力】アジア・アフリカを中心とした発展途上国における教育の現状、国際機関の役割、国際協力のあり方などを具体的に検討している。研究の成果を実際の国際協力の実践に活用できるよう、現場との連携を常に念頭においている。 e-mail: hamano.takashi@ocha.ac.jp	
准教授 富士原 紀絵 Associate Professor FUJIWARA Kie (5472)	教育方法学・カリキュラム論 Educational Methodology and Curriculum	【カリキュラム論・教育方法学】近現代日本の学校教育において、公的な教育内容・方法の組織された教育課程と、個々の学校レベルあるいは日々の事業の実践として展開されているカリキュラムとの関係について研究を行っている。 e-mail: fujiwara.kie@ocha.ac.jp	
心理学領域 Psychology			
教授 石口 彰 Professor ISHIGUCHI Akira ※ 〇 (5262)	認知科学論 Cognitive Science	【認知心理学】視覚を中心とした人間の感性能力の研究が専門である。3次元視空間の認知やその感性的評価、あるいは創造性や感性表現などに及ぼす心理学的・生物学的・発達の・比較文化的要因を検討する。 e-mail: ishiguchi.akira@ocha.ac.jp	
教授 坂元 章 Professor SAKAMOTO Akira (5257)	メディア心理学 Media Psychology	【社会心理学】テレビ、ゲーム、インターネットなどの電子メディアが人間の行動や特性に及ぼす影響、また、その有効利用を中心に研究している。 e-mail: sakamoto.akira@ocha.ac.jp	
教授 菅原 ますみ Professor SUGAWARA Masumi (5270)	人格発達論 Personality Development	【人格形成をめぐる発達環境論】主に乳児期から青年期までを対象として、パーソナリティの発達や精神病理の発現に関わる子どもの側の要因（遺伝子関連要因を含む）と養育・教育環境との関連についての研究。 e-mail: sugawara.masumi@ocha.ac.jp	
教授 大森 美香 Professor OMORI Mika (2561)	健康行動論 Research in Health Behavior	【健康心理学・臨床心理学】心身の健康と心理社会的要因の関連に関する研究を主としている。特に青年期以降の（１）ヘルスリスク行動、健康促進行動、食行動、（２）感情、認知、ストレス、ストレスマネジメントの方法、に関わる問題を扱っている。 e-mail: omori.mika@ocha.ac.jp	
准教授 上原 泉 Associate Professor UEHARA Izumi (5259)	発達心理学先端研究 Advanced Studies in Developmental Psychology	【発達心理学】幼児期の認知発達の研究を中心に行っている。皆に共通する発達過程と環境や文化の影響を受けやすい発達過程に関心をもつ。 e-mail: uehara.izumi@ocha.ac.jp	
(教授 加賀美 常美代)		担当専攻「比較社会文化学専攻」 国際日本学領域 多文化間心理学と同じ	
発達臨床心理学領域 Developmental and Clinical Psychology			
教授 簗 倫子 Professor TAKAMURA Tomoko 〇 (5784)	障害臨床論 Developmental Disabilities	【障害臨床論】①発達障害のある子どもと家族への心理教育的支援、②ハイリスク児と障害児との関連についての研究、③親のメンタルヘルスと支援方法。 e-mail: takamura.tomoko@ocha.ac.jp	
准教授 青木 紀久代 Associate Professor AOKI Kikuyo (5772)	生涯発達臨床心理学 Life-span Development and Clinical Psychology	【発達臨床心理学】①母子相互作用と乳幼児の人格形成の関連を現代精神分析理論と発達心理学双方の視点から検討する。②子育て支援、保育場面での心理臨床の実践的研究。③学校メンタルヘルスに関する国際比較研究。 e-mail: aoki.kikuyo@ocha.ac.jp	
准教授 伊藤 亜矢子 Associate Professor ITO Ayako ※ (5266)	コミュニティ心理学特論 Community Psychology	【学校臨床心理学・コミュニティ心理学】子どもの発達支援を臨床心理学・コミュニティ心理学の視点から検討する。特に、予防プログラム、スクールカウンセリング、学級風土に着目した学校コンサルテーション等。 e-mail: ito.ayako@ocha.ac.jp	
准教授 岩壁 茂 Associate Professor IWAKABE Shigeru (5780)	人格システム論 Systems of Personality	【カウンセリング心理学】①カウンセリングと心理療法の過程・効果研究。②異なる人格理論、心理療法的統合に関する研究。③心理臨床家の職業的発達に関する研究。④心理療法における感情変容。 e-mail: iwakabe.shigeru@ocha.ac.jp	
准教授 石丸 徑一郎 Associate Professor ISHIMARU Keiichiro (5187)	青少年臨床論 Clinical Approach to Adolescence	【臨床心理学】LGBTQとのかかわりについて心理学的に検討している。特に、性別違和の測定、職場や学校での支援、認知行動療法の応用など。 e-mail: ishimaru.keiichiro@ocha.ac.jp	
社会学・社会政策領域 Sociology and Social Policies			
教授 平岡 公一 Professor HIRAOKA Koichi 〇 (5246)	社会福祉政策論 Social Welfare Policy	【社会政策論、社会福祉（特に高齢者福祉）】社会政策（所得保障・医療保障・社会福祉・住宅政策等）、とりわけ高齢者福祉政策の理論的・実証的・政策科学的研究、および社会学的観点からの福祉国家研究を行っている。 e-mail: hiraoka.koichi@ocha.ac.jp	
教授 坂本 佳鶴恵 Professor SAKAMOTO Kazue (5172)	社会コミュニケーション論 Social Communication	【社会学（社会意識論、家族論、コミュニケーション論）】人々の意識と社会の変化との関係を理論的実証的に究明する。人々の日常行動及びメディアを媒介としたコミュニケーションによって、アイデンティティ、家族、ジェンダー、共同体などがどのように構築され、変化していくかを研究する。 e-mail: hashimoto.sakamoto.kazue@ocha.ac.jp	
教授 小谷 眞男 Professor KOTANI Masao ※ (5787)	比較法社会論 Comparative Studies on Society and Law	【比較法史】＜生活＞の比較法社会史・比較法文化史及びトランス・サイエンス論研究。特にイタリアを専門的フィールドとする。 e-mail: kotani.masao@ocha.ac.jp	
教授 大森 正博 Professor OMORI Masahiro (5987)	生活者環境論 Social Science in Human Environments	【公共経済学・医療経済学】医療・介護制度を資源配分、所得分配の観点から分析し、望ましい医療・介護制度のあり方を考える。医療・介護制度の国際比較も行う。 e-mail: omori.masahiro@ocha.ac.jp	
教授 杉野 勇 Professor SUGINO Isamu (5171)	社会科学方法論 Social Science Methodology	【理論社会学・社会調査論】紛争や階層についての理論的考察と実証的調査研究、社会科学方法論や社会調査法研究。 e-mail: sugino.isamu@ocha.ac.jp	
准教授 西村 純子 Associate Professor NISHIMURA Junko (5171)	家族変容論 Family Sociology	【家族社会学】家族関係の変容とそのダイナミクスに関する実証的研究。特に、仕事と家族生活、子育てに関わる現象についての社会学的研究をおこなっている。 e-mail: nishimura.junko@ocha.ac.jp	

(注1) ◎は、平成31年度末をもって退職予定であり、〇は平成32年度末をもって退職予定である教員である。

なお、平成30年度末(平成31年3月31日付け)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) () は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。

人間発達科学専攻 Human Developmental Sciences		☎ 03-5978- (下記☎参照)	
保育・児童学領域 Child Studies			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 柴坂 寿子 Professor SHIBASAKA Hisako ☎(5771)	比較行動発達論 Child Ethnology	【子ども行動学】比較行動学の方法論に基づいた子どもの行動の研究。主に幼稚園児のクラス集団における仲間関係の動態・コミュニケーション・仲間文化について観察研究を行っている。 e-mail: shibasaka.hisako@ocha.ac.jp	
教授 小玉 亮子 Professor KODAMA Ryoko ☎(5342)	教育文化論 Cultural Studies in Education	【比較教育文化論】次世代育成に関わる文化の総体を教育文化ととらえ、幼児教育と家庭教育を中心とした比較教育文化/社会史・子ども社会学的研究を行っている。 e-mail: kodama.ryoko@ocha.ac.jp	
教授 浜口 順子 Professor HAMAGUCHI Junko ☎(5826)	保育関係論 Relations in Early Childhood Care and Education	【保育学・幼児教育学】保育・教育現場と協働する多義的な保育者養成のプロセスと方法、理論を考える。子ども観、保育思想の人間学的研究。 e-mail: takeuchi.hamaguchi.junko@ocha.ac.jp	
准教授 刑部 育子 Associate Professor GYOBU Ikuko ※☎(5527)	幼児教育論 Early Childhood Education	【幼児教育学・発達心理学】保育・教育実践の現場に関心をもち、学習論・発達論の観点から保育・教育に関する実践的研究を行っている。 e-mail: gyobu.ikuko@ocha.ac.jp	

(注1) ◎は、平成31年度末をもって退職予定であり、○は平成32年度末をもって退職予定である教員である。
なお、平成30年度末(平成31年3月31日付け)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

ジェンダー学際研究専攻 Interdisciplinary Gender Studies			☎ 03-5978- (下記☎参照)
ジェンダー論領域 Interdisciplinary Gender Studies			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 Professor ◎ 石井クントツ昌子 Ishii-Kuntz Masako ☎(5794)	家族論 Studies of Families	【家族社会学・家族関係学】ジェンダー視点から家族関係、家族構造、家族役割を社会・経済的变化との関連でとらえる。国際比較を通して現代日本の家族の変容を考察する。家庭内性別役割分担を主な研究テーマとしている。 e-mail: ishii.kuntz.masako@ocha.ac.jp	
教授 Professor ◎ 熊谷 圭知 KUMAGAI Keichi ☎(5191)	地域研究論 Area Studies Methodology	【社会文化地理学、オセアニア地域研究】最近の研究関心は、1) パプアニューギニア地域研究、のほか、2) 地域研究と開発実践の関係性、3) ジェンダーと開発をローカル視点から捉える、ことです。 e-mail: kumagai.keichi@ocha.ac.jp	
教授 Professor ☎(5786) 永瀬 伸子 NAGASE Nobuko	労働論 Labor Economics	【労働経済学】就業行動、家庭内生産活動など、仕事をめぐる選択行動を経済理論を用いて分析の枠組みをつくり、先験的な予想を立て、統計等を用い実証的に分析することを専門とする。主な領域は「仕事」の選択行動であるが、出産、教育、結婚等の選択もこの枠組みで扱うこともできる。質的研究も行う。 e-mail: nagase.nobuko@ocha.ac.jp	
教授 Professor ☎(5251) 棚橋 訓 TANAHASHI Satoshi	比較文化ジェンダー論 Comparative Studies on Culture and Gender	【文化人類学、ジェンダー文化論】文化人類学の視点から、近現代の異文化混雑の過程に生じるジェンダー秩序の再編に関する研究、社会変動とセクシュアリティ変容に関する研究、「第三のジェンダー」に関する研究を行っている。主なフィールドはオセアニアと日本。 e-mail: tanahashi.satoshi@ocha.ac.jp	
教授 Professor ☎(5254) 小林 誠 KOBAYASHI Makoto	地域開発論 Local Development	【国際政治学、国際関係学】グローバルゼーションによる国際システムの変容を理論的・実証的に研究。特に、非国家アクターが台頭し、地球市民社会が形成され始めて、中央・周辺関係が変化する一方で、新たな暴力の形態が生まれていることに注目。 e-mail: kobayashi.makoto@ocha.ac.jp	
教授 Professor ☎(5188) 水野 勲 MIZUNO Isao	地域分析論 Regional Analysis	【数理地理学、経済地理学】地域不均衡の累積過程のモデリング、地域統計の分析、地図化を通じて、経済地理的事象の説明を行っている。フェミニスト地理学における量的研究と質的研究の議論にも関心がある。 e-mail: mizuno.isao@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ☎(5190) 荒木 美奈子 ARAKI Minako	地域開発論 Local Development	【開発研究、アフリカ地域研究】研究関心は、地域研究に基づく開発実践・研究、内発的発展、参加型開発、グローバルゼーションによる地域社会の変容などである。タンザニアを主なフィールドとしている。 e-mail: araki.minako@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ☎(5195) 宮澤 仁 MIYAZAWA Hitoshi	福祉地理学 Welfare Geography	【都市地理学、福祉地理学、地理情報システム (GIS)】人口減少・少子高齢化に伴う都市・地域の問題を地理情報システムと地域分析手法を用いて分析し、生活・福祉の視点から課題解決に取り組む。 e-mail: miyazawa.hitoshi@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ※ ☎(5843) 申 琪榮 Shin Ki-young	比較政治論 Comparative Politics	【ジェンダーと政治、日韓比較政治、フェミニズム理論】これまでの主な研究は家族法改正を目指す女性運動の日韓比較、ジェンダー・クォーター、ジェンダー主流化政策、Transnational Feminismなど。 e-mail: shin.kiyoung@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ☎(5196) 長谷川 直子 HASEGAWA Naoko	環境地理学 Environmental Geography	【自然地理学・陸水学】気候変動(とくに温暖化)が湖に与える影響の解明。湖へ流入する水の挙動を観測により解明する。環境問題や地理的視点の一般社会への普及の検討。 e-mail: hasegawa.naoko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ☎(5986) 斎藤 悦子 SAITO Etsuko	生活経済論特論 Household Economics	【生活経済学、生活経営学】家計、生活時間をジェンダーの視点から分析する。特に雇用労働者世帯を扱い、企業と生活者の関係性に注目している。現在は、生活者が「企業の社会的責任」にいかに関係していくかを検討している。 e-mail: saito.etsuko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ☎(2084) デ アウカンタラ マルセロ DE ALCANTARA Marcelo	比較家族法論 Comparative Family Law	【家族法・比較法】親子法について、特に生殖補助医療に関連して生じた諸問題に関する研究を行っている。日本の家族法と諸外国の家族法との比較研究も行っている。家族法と国際化、家族法とジェンダーの問題にも関心がある。 e-mail: marcelo.de.alcantara@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** 大橋 史恵 OHASHI Fumie	ジェンダー政治経済学 Gender Political Economics	移住家事・ケア労働者の就労や生存をめぐる諸課題や彼女たちの社会運動について、主に中国・香港・台湾・日本でフィールドワークをおこないながら研究を進めている。またポスト冷戦期東アジアのジェンダー秩序や、そのなかで生起するトランスナショナルなフェミニズム運動にも関心をもっている。 e-mail: ohashi.fumie@ocha.ac.jp	
助教 Assistant Professor ☎(2612) 倉光 ミナ子 KURAMITSU Minako	地域研究論 Area Studies Methodology	【文化地理学、オセアニア地域研究】最近の研究関心は、オセアニア地域研究、特にグローバル化によるジェンダーと慣習への影響、移民女性の子育てなど。主なフィールドはサモアとニュージーランド。 e-mail: kuramitsu.minako@ocha.ac.jp	
(教授 小玉 亮子)	ジェンダー理論文化学 Cultural Studies and Gender Theory	【ジェンダー理論・ジェンダー史・比較文化/社会史】近現代思想をジェンダーの視点から再検討すると同時に、歴史の中で、ジェンダーがどのように構築されてきたかを検討している。	

(注1) ◎は、平成31年度末をもって退職予定であり、○は平成32年度末をもって退職予定である教員である。
なお、平成30年度末(平成31年3月31日付け)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) **は、平成30年9月1日着任予定である教員である。

(注4) () は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。

ライフサイエンス専攻 Life Sciences			☎ 03-5978- (下記☎参照)
生命科学領域 Biological Sciences			
担当教員 Position	氏名 Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野
教授 Professor	千葉 和義 CHIBA Kazuyoshi ☎ (5370)	細胞・発生生物学 Advanced Cell and Developmental Biology	【細胞・発生生物学】減数分裂や受精、初期発生過程において、細胞内外の情報がお互いに伝達され、発生が制御されているのかについて研究している。 e-mail: chiba.kazuyoshi@ocha.ac.jp
教授 Professor ※ ○	小林 哲幸 KOBAYASHI Tetsuyuki ☎ (2604)	細胞膜機能学 Cell Membrane Functions	【生体膜化学】刺激の伝達・分泌・輸送・ストレス応答など多彩な細胞機能が営まれる場である生体膜について、その機能を担うタンパク質や脂質の代謝・動態を動物や培養細胞を用いて生化学的に解析している。 e-mail: kobayashi.tetsuyuki@ocha.ac.jp
教授 Professor ○	最上 善広 MOGAMI Yoshihiro ☎ (5368)	生体応答ダイナミクス Dynamics in Biological Responses	【動物生理学、宇宙生物学】生命現象の持つ「可塑性」と「安定性」という、見かけ上相反するふたつの特徴がどのようにして発現・維持されているか。この問題に対し、生体の外界因子の作用に対する、受容、増幅及び統合機能のダイナミックな特性を明らかにすることからアプローチする。外界因子として特に地球重力に着目し、地球生命の進化と多様化に果たした重力の作用を、宇宙微小重力実験などを通して明らかにすることを旨とする。 e-mail: mogami.yoshihiro@ocha.ac.jp
教授 Professor	由良 敬 YURA Kei ☎ (5514)	計算構造生物学 Computational Structural Biology	【生命情報学】ゲノム塩基配列、タンパク質立体構造予測、タンパク質などの相互作用情報が膨大に収集されるようになった。これらの情報を利用して、タンパク質がどのようにDNAやRNA、低分子などと相互作用することで、セントラルドグマなどの機構を実現しているかを、計算生物学的に明らかにしていくことを目指す。 e-mail: yura.kei@ocha.ac.jp
教授 Professor	加藤 美砂子 KATO Misako ☎ (5293)	植物分子生理学 Plant Molecular Physiology	【植物分子生理学】植物に特有の代謝系に焦点をあて、その調節機構を遺伝子発現のレベルから解析している。特に植物の二次代謝系や脂質合成系を制御する分子機構に着目して研究を進めている。 e-mail: kato.misako@ocha.ac.jp
教授 Professor ○	作田 正明 SAKUTA Masaaki ☎ (5712)	生態環境応答 Environmental Stress in Plant Ecosystem	【植物生理学】動くことができません、環境の変化に直接曝される植物では、独特の環境応答機構が存在する。この機構の中心となる防御遺伝子の発現（転写）調節について、生化学・分子生物学的側面より解析を行っている。 e-mail: sakuta.masaaki@ocha.ac.jp
教授 Professor	服田 昌之 HATTA Masayuki ☎ (5579)	生物圏科学 Biosphere Science	【進化生態遺伝学】海洋動物の進化史を遺伝・生態の側面から明らかにする。サンゴ礁生物の多様性やサンゴ礁修復技術についても研究している。 e-mail: hatta.masayuki@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	清本 正人 KIYOMOTO Masato ☎ 0470-29-0838	発生機構学 Developmental Mechanics	【発生生物学】棘皮動物を材料に、初期発生における細胞の分化や形態形成のメカニズムを明らかにする。具体的には、ウニ胚の薄片形成細胞の分化における誘導因子や細胞間の相互作用について、培養系を使って研究している。 e-mail: kiyomoto.masato@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	宮本 泰則 MIYAMOTO Yasunori ☎ (5363)	分子細胞生物学 Molecular Cell Biology	【分子細胞生物学】動物細胞の細胞外マトリックスと細胞との接着を担っている細胞接着分子について、細胞接着分子が増殖・分化に及ぼす影響を分子レベルで解明している。特に細胞接着分子の中でもヒトロネクチンに着目し、神経細胞における発現と神経分化に対する作用機構解明を試みている。 e-mail: miyamoto.yasunori@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	島田 智 SHIMADA Satoshi ☎ (5356)	構造植物科学 Structure of Plant Sciences	【多様性生物学】どのような生物種がどれほどの地球上に存在しているのか？そもそも、どうやって生物は多様化してきたのか？という生物多様性に関する素朴な疑問を明らかにしたいと考えている。 e-mail: shinada.satoshi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	近藤 るみ KONDO Rumi ☎ (5372)	進化多様性 Evolution and Diversity	【分子進化】生物の多様性と進化の問題を分子レベルで明らかにする。特に遺伝子の発現レベル（トランスクリプトーム）の多様性と進化に着目した研究を進めている。 e-mail: kondo.rumi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	植村 知博 UEMURA Tomohiro ☎ (5713)	細胞膜機能学 Molecular Membrane Biology	【細胞膜機能学】真核細胞のオルガネラの膜ダイナミクスと生理機能を明らかにする。ライブイメージングによる観察によって研究を進める。 e-mail: uemura.tomohiro@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor	佐藤 敦子 SATO Atsuko ☎ (5377)	環境発生進化学 Environment Development & Evolution	【発生進化学】生物の発生が環境にどのように変化し、どう進化するのか。大量データ解析と発生進化的手法を用いて解明する。
助教 Assistant Professor	毛内 弘 MONAI Hiromu ☎ (5303)	生体応答ダイナミクス Dynamics in Biological Responses	【生体組織機能学】脳が生きているとはどういうことか？生きた脳組織が機能する基礎原理について、非シナプスの相互作用の観点から解明を試みている。 e-mail: monai.hiromu@ocha.ac.jp
客員教授 Visiting Professor	田中 啓二 TANAKA Keiji (東京都医学総合研究所)	生体防御システム Biophylaxis System	細胞内サイクリック装置であるプロテアソームやオートファジーについて分子から個体レベルまで多面的に解析し、神経細胞の恒常性を維持する機構について研究している。 e-mail: tanaka-kj@igakuken.or.jp
客員教授 Visiting Professor	反町 洋之 SORIMACHI Hiroyuki (東京都医学総合研究所)	シグナル伝達機構 Biological Signaling Mechanism	細胞内の調節的タンパク質切断酵素「カルパイン」の生理機能と構造機能相関について研究している。 e-mail: sorimachi-hr@igakuken.or.jp
客員教授 Visiting Professor	Martin Frith (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)	ゲノム情報学 Genome Informatics	【ゲノム情報学】コンピュターを利用した統計モデルにもとづき、比較ゲノミクスの手法を用いて、ゲノム塩基配列から機能および進化に関する情報を読み解く研究を進めている。 e-mail: m.frith@aist.go.jp
客員准教授 Visiting Associate Professor	油谷 幸代 ABURATANI Sachiyo (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)	生体ネットワーク解析学 Biological Network Analysis	【バイオインフォマティクス】生体細胞内における遺伝子間の制御関係の解明を目的とし、マイクロアレイデータなどの網羅的遺伝子発現プロファイルデータからの遺伝子ネットワーク推定手法の開発、および開発した手法を適用してモデル生物における遺伝子発現解析を行っている。 e-mail: s.aburatani@aist.go.jp
(教授)	小川 温子	生体高分子科学 Biomacromolecular Science	担当専攻「理学専攻」 化学・生物化学領域 糖鎖生物化学と同じ
(教授)	相川 京子	生体分子科学 The Structure and Function of Biomolecules	担当専攻「理学専攻」 化学・生物化学領域 細胞機能科学と同じ
人間・環境科学領域 Human Environmental Sciences			
准教授 Associate Professor ※	元岡 展久 MOTOOKA Nobuhisa ☎ (5585)	建築計画論 Architectural Design Theory	【建築意匠論】建築は何を表現するのか？様々な建築の実例を通じて、建築形態を分析し、設計の意図ならびに方法を研究する。 e-mail: motooka.nobuhisa@ocha.ac.jp
教授 Professor #	太田 裕治 OHTA Yoji ☎ (5739)	人間環境評価学 Human-Environment Interaction	【人間工学】我々の生活と直接関連する生活支援機器、高齢者支援機器、人工臓器等の医用福祉機器の開発に関する工学的基礎研究を行う。生体システムを深く解析すると同時にシンセシス（設計）と技術評価に重点をおきつつ研究を進めている。 e-mail: ohta.yoji@ocha.ac.jp
教授 Professor #	仲西 正 NAKANISHI Tadashi ☎ (5745)	環境材料機能学 Materials and Environmental Science	【生活材料科学】機能性高分子の性質を物理化学的に検討し、機能発現機構を考察するとともに、生活材料の機能化の方向を探索。ゲル、荷電膜、消臭繊維などを最近の研究対象としている。 e-mail: nakanishi.tadashi@ocha.ac.jp
教授 Professor #	大瀧 雅寛 OTAKI Masahiro ☎ (5748)	環境衛生工学 Environmental & Sanitary Engineering	【環境工学】安全で快適な生活環境を確保するために、環境因子（主に水環境）が人間に与える様々な影響を評価する手法、及びそれらを管理制御する技術について工学的に検討、研究を行う。 e-mail: otaki.masahiro@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor #	長澤 夏子 NAGASAWA Natsuko ☎ (5743)	建築環境論 Architectural Environment	【建築人間工学】都市や建物の利用者および環境にやさしい建築をつくるために、人間の生活、行動や身体とそれを取りまく環境について工学的なアプローチで、建築空間の設計の根拠を提示する研究をおこなう。 e-mail: nagasawa.natsuko@ocha.ac.jp

(注1) ◎は、平成31年度末をもって退職予定であり、○は平成32年度末をもって退職予定である教員である。

なお、平成30年度末(平成31年3月31日付け)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) () は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。

(注4) #は、生活工学共同専攻担当の教員である。本専攻では主任指導教員にはならない。

ライフサイエンス専攻 Life Sciences		☎ 03-5978- (下記☎参照)	
食品栄養科学領域 Food and Nutritional Sciences			
担 当 教 員 Position Name	授 業 科 目 Main Subject	研 究 テ ー マ または 研 究 分 野	
教授 香西 みどり Professor KASAI Midori ○ ☎(5761)	嗜好性設計学 Food Palatability	【調理科学】調理操作による、食物の味とテクスチャーの変化を化学成分および物性の測定を通して知り、この変化と人間の感覚との関係を知る。これらに基づいて嗜好性の高い食物を得るための調理条件を設計する方法を研究している。 e-mail: kasai.midori@ocha.ac.jp	
教授 村田 容常 Professor MURATA Masatsune ○ ☎(5753)	食品貯蔵学 Food Preservation	【食品加工・貯蔵学】食品の加工貯蔵中には様々な化学的变化がおこり、食品の特性や品質に大きな影響を及ぼしている。例えば野菜や果実を切ると褐変する。これには酵素反応が関係する。また、メイラード反応のような成分間反応も普遍的に起こる。そのような過程を食品学、有機化学、生化学的に解析し、制御法も考案している。 e-mail: murata.masatsune@ocha.ac.jp	
教授 藤原 葉子 Professor FUJIWARA Yoko ☎(5752)	分子栄養学 Molecular Nutrition	【栄養化学、脂質栄養学】食品成分と動脈硬化症をはじめとする生活習慣病との関連に関心がある。特に多価不飽和脂肪酸や脂溶性ビタミンの生理機能研究を行っている。 e-mail: fujiiwara.yoko@ocha.ac.jp	
教授 本田 善一郎 Professor HONDA Zenichiro ○ ☎(5155)	環境医学 Environmental medicine	重要なcommon diseaseである食物アレルギー、アトピー性喘息を改善する食物要素は複数知られているが、その作用機序は十分明らかにされていない。分子生物学的手法、発現クローニングの手法を用いてターゲット分子を明らかにし、新たな治療標的として提示する。 e-mail: honda.zenichiro@ocha.ac.jp	
教授 森光 康次郎 Professor MORIMITSU Yasujiro ☎(5757)	食品生理機能学 Studies on Food Functionality	【食品機能化学】近年、食品起源の生体調節機能性因子が注目され、その重要性が広く一般にも認識されるようになった。身近となった抗酸化物質から生活習慣病予防効果を示しうる食用植物由来の生理活性物質について、有機化学的・生化学的研究を中心に行っている。 e-mail: morimitsu.yasujiro@ocha.ac.jp	
教授 赤松 利恵 Professor AKAMATSU Rie ※ ☎(5680)	食行動学 Eating Behavior	【健康教育（栄養教育）】人の食行動に関わる要因について、心理社会的観点から検討し、よりよい生活習慣を獲得するための方法を研究している。 e-mail: akamatsu.rie@ocha.ac.jp	
教授 飯田 薫子 Professor IIDA Kaoruko ☎(5474)	栄養臨床医学・疫学 Lecture on Clinical Nutrition	【応用栄養学、生活習慣病学】生体内における糖や脂質の代謝機構について生活習慣病との関連性から研究を行っている。 e-mail: iida.kaoruko@ocha.ac.jp	
准教授 須藤 紀子 Associate Professor SUDO Noriko ☎(5448)	国際公衆栄養学 International Public Health Nutrition	【公衆栄養学】災害時の食生活支援のための体制整備に関する研究を行っている。 e-mail: sudo.noriko@ocha.ac.jp	
講師 市 育代 Lecturer ICHI Ikuyo ☎(5750)	臨床栄養学 Clinical Nutrition	【臨床栄養学】脂質の代謝異常は生活習慣病など様々な疾患の発症に関わっている。病態における脂質の変動と疾病との関連について研究を行っている。 e-mail: ichi.ikuyo@ocha.ac.jp	
客員教授 亀山 眞由美 Visiting Professor KAMEYAMA Mayumi (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)	食品バイオテクノロジー Food Biotechnology	【食品分析学】食品の成分や状態について安全性や品質などの観点から最新の方法論に基づいて研究している。 e-mail: kameyama@affrc.go.jp	
客員教授 久城 真代 Visiting Professor KUSHIRO Masasyo (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)	食品安全管理学 Food Safety	【食品安全管理学】カビ毒を含めた食品の安全管理に関する研究。 e-mail: kushiron@affrc.go.jp	
客員准教授 田中 茂穂 Visiting Associate Professor TANAKA Shigeho (国立研究開発法人 健康・栄養研究所)	食健康医学 Health and Medicine in Nutrition	【エネルギー代謝・身体活動科学】生活習慣病の予防や改善を最終目的として、人の総エネルギー消費量やエネルギーバランス、特に基礎代謝量や身体活動に伴うエネルギー消費量の評価法および変動要因を検討している。 e-mail: tanakas@nih.go.jp	
遺伝カウンセリング領域 Genetic Counseling			
教授 三宅 秀彦 Professor MIYAKE Hidehiko ※ ☎(5587)	遺伝カウンセリング論 Guide to Genetic Counseling	【臨床遺伝医学、遺伝カウンセリング学】出生前診断を中心とした遺伝に関わる問題に対して、遺伝カウンセリングや教育、社会啓発に関する研究を行っている。 e-mail: miyake.hidehiko@ocha.ac.jp	

(注1) ◎は、平成31年度末をもって退職予定であり、○は平成32年度末をもって退職予定である教員である。

なお、平成30年度末(平成31年3月31日付け)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

理学専攻 Advanced Sciences

☎ 03-5978- (下記☎参照)

数学領域 Mathematics		研究テーマ又は研究分野	
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject		
教授 Professor YOKOGAWA Koji ☎(5357)	ホモトピー数学 Homotopical Mathematics	従来の等号をベースにした数学から同値をベースとしたものへ移行したものがホモトピー数学である。ホモトピー数学により、これまで見ていなかった数学構造が捉えられる。研究テーマはこのホモトピー数学の論理的基礎づけとその幾何学への応用である。 e-mail: yokogawa.koji@ocha.ac.jp	
教授 Professor 中居 功 NAKAI Isao ☎(5310)	特異点論 Singularities in Maps and Dynamical Systems	微分方程式の解の幾何学的な振舞いを理解することを目的としている。そのために、微分方程式を複素力学系とみなし、力学系の研究の方法を応用する。また計算機による様々な数値実験もする。また、解の大域的振舞いとともに特異点のまわりにおける挙動を調べる。 e-mail: nakai.isao@ocha.ac.jp	
教授 Professor 萩田 真理子 HAGITA Mariko ☎(2712)	組み合わせ構造論 Combinatorial Structure	【離散数学】M系列、差集合、ブロックデザイン、符号などの離散構造の存在性についての理論研究と、グラフ彩色、擬似乱数、暗号など情報セキュリティのための離散数学の応用研究を行っている。 e-mail: hagita.mariko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 戸田 正人 TODA Masahito ☎(5305)	大域幾何構造論 Global geometry	位相構造など空間の大域的性質を距離構造や複素構造などの空間上の幾何構造との関連から研究する。多様体などの位相構造の分類を行なうことを目的として、幾何構造上で展開される解析学を援用して、空間に生ずる特異性の解析を行なう。 e-mail: toda.masahito@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer 堀江 充子 HORIE Mitsuko ☎(5301)	整数構造論 Theory of Numbers	【代数的整数論】代数体とは有理数体に(有理数体上の)代数方程式の解を添加して得られる体のことである。代数的整数論は代数体の算術的性質を研究する数学の分野である。特に代数体の不変量である類数や、代数体の中心拡大について研究している。 e-mail: horie.mitsuko@ocha.ac.jp	
物理科学領域 Physics			
教授 Professor 森川 雅博 MORIKAWA Masahiro ☎(5312)	宇宙天体物理学 Physical Cosmology	【宇宙論】初期宇宙の相転移のダイナミクス。場の理論・非平衡統計力学などの手法も利用する。宇宙の波動関数・ブラックホールからの放射・量子コヒーレンスと古典化・観測的宇宙論も含む。 e-mail: morikawa.masahiro@ocha.ac.jp	
教授 Professor 小林 功佳 KOBAYASHI Katsuyoshi ☎(5314)	ナノスケール物理 Nano-Scale Physics	【メソからナノスケールの物理、表面物理】最近の微細加工技術や走査プローブ顕微鏡等の進歩により、原子やナノのスケールでの物性測定や人工構造物の作成が可能になった。このスケールに特有の新たな物理現象を探る目的で理論的な立場から研究を行っている。 e-mail: kobayashi.katsuyoshi@ocha.ac.jp	
教授 Professor 奥村 剛 OKUMURA Ko ☎(5321)	ソフトマテリアルズの物理 Physics of Soft Materials	【ソフトマター物理・化学物理】理論と実験の両面から、ゲル、液晶、破壊、粘弾性、表面張力、濡れ、粉体などをキーワードにソフトマター物理学の研究をしている。場の理論、経路積分、非平衡統計力学などの手法を基礎にした、溶液の多次元レーザー分光理論ももうひとつの研究の柱である。 e-mail: okumura.ko@ocha.ac.jp	
教授 Professor 出口 哲生 DEGUCHI Tetsuo ☎(5322)	非線形現象解析 Analysis of Nonlinear Phenomena	【数理物理学・物性基礎論】非線形性は多様な自然現象の中で重要な役割を果たす。非線形性のために系は単なる部分の和でない、全体として特有の性質を示す。ソリトンの逆散乱法やペーテ仮説などの数理物理学の手法を用いて、水面の波動、量子スピン系の磁気序、結び目と物理、高分子など幅広いテーマを総合的に研究する。 e-mail: deguchi.tetsuo@ocha.ac.jp	
教授 Professor 古川 はづき FURUKAWA Hazuki ☎(5317)	強相関物理 Strongly correlated electron system	【強相関電子系の研究】強相関電子系の物理という視点から、(1) 金属間化合物超伝導体 $\text{RENi}_2\text{B}_2\text{C}$ ($R = \text{Y, Ho, Er, Dy, Yb, etc.}$) (2) 巨大磁気抵抗効果を示すペロブスカイト型 Mn 酸化物 Sr_2RuO_4 系とその関連物質 (Sr, Ca, RuO_4 系という3つの系を研究する。 (3) 銅を含まない酸化物超伝導体 Sr_2RuO_4 系とその関連物質 (Sr, Ca, RuO_4 系という3つの系を研究する。 e-mail: furukawa.hazuki@ocha.ac.jp	
教授 Professor 番 雅司 BAN Masashi ☎(5326)	統計物理学 Statistical Physics	【量子情報・非平衡統計力学】量子情報のダイナミクスを非平衡統計力学的手法を用いて研究する。また、情報という概念を用いて量子力学の測定の問題や統計力学の不可逆性に関する問題を研究する。更に、物理と情報の両面から量子通信システムの様々なプロトコルの研究に取り組む。 e-mail: ban.masashi@ocha.ac.jp	
教授 Professor 曹 基哲 CHO Gi-Chol ☎(5330)	高エネルギー物理 High Energy Physics	【素粒子物理学理論】電弱相互作用、強い相互作用を記述するゲージ理論に基づき、高エネルギー領域における素粒子現象を研究する。超対称性の存在、質量の生成機構、高次元空間の可能性等を検証するための研究も行う。 e-mail: cho.gichol@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 北島 佐知子 KITAJIMA Sachiko ☎(5941)	統計物理学 Statistical Physics	【量子情報・非平衡統計力学】量子情報の理論的研究を行う。また、非平衡ダイナミクスの視点から量子系の基礎的諸問題の解明に取り組む。 e-mail: kitajima.sachiko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 河野 能知 KONO Takanori ☎(2057)	ゲージ理論 Gauge Theory	【素粒子物理学実験】CERNで行われている高エネルギー陽子・陽子衝突実験ATLASに参加して、最高エネルギーでの素粒子現象の測定および新粒子の探索などの研究を行っている。また半導体飛跡検出器の開発も行っている。 e-mail: kono.takanori@ocha.ac.jp	

(注1) ◎は、平成31年度末をもって退職予定であり、○は平成32年度末をもって退職予定である教員である。
なお、平成30年度末(平成31年3月31日付け)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

理学専攻 Advanced Sciences			☎ 03-5978- (下記☎参照)	
化学・生物化学領域 Chemistry and Biochemistry				
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野		
教授 鷹野 景子 Professor TAKANO Keiko ☎ (5338)	複雑系量子化学 Quantum Chemistry of Complex Systems	【理論化学、計算化学】分子およびその集合体の構造や機能、化学反応の機構、分子間相互作用について、量子化学的手法に基づくシミュレーション計算により研究を行う。生命科学分野、物質材料分野への応用研究として、糖鎖科学、有機金属化学、クラスター科学における諸問題に取り組む。 e-mail: takano.keiko@ocha.ac.jp		
教授 ※◎ 益田 祐一 Professor MASUDA Yuichi ☎ (5350)	動的溶液化学 Dynamic Solution Science	【溶液科学】液体・溶液中での分子の様々なタイプの運動、あるいは化学反応過程が、溶液内のどのような時間的・空間的サイズのゆらぎと相互作用しているかについて、種々の分光法により明らかにする。 e-mail: masuda.yuichi@ocha.ac.jp		
教授 山田 眞二 Professor YAMADA Shinji ☎ (5349)	有機反応設計 Design of Organic Reaction	【合成有機化学、構造有機化学】有機分子の構造と反応に関する基礎的研究を行い、それらに基づき有機分子を自在に構築するために必要な、位置、立体、官能基選択性を制御する新しい方法について研究する。 e-mail: yamada.shinji@ocha.ac.jp		
教授 ○ 小川 温子 Professor OGAWA Haruko ☎ (5343)	糖鎖生物化学 Glycobiology and Biochemistry	【生物化学、生体分子間相互作用】生物を構成する分子の中で、種々の複合糖質（糖タンパク質、多糖、糖脂質等）および糖鎖認識分子に注目し、それらが形成する超分子の構造と性質、生体における機能を解明する。また重要な機能を達成する分子機構とその応用を研究する。 e-mail: ogawa.haruko@ocha.ac.jp		
教授 近藤 敏啓 Professor KONDO Toshihiro ☎ (5347)	ナノ界面化学 Nano-Interfacial Chemistry	【ナノ界面物理化学・分析電気化学】電気化学反応（電極/溶液界面の電子移動反応）を定量的に理解することおよび燃料電池やセンサなどのナノテクノロジーにつながる分子デバイスを構築することを目的として、原子・分子のレベルで構造制御した界面を構築し、電子移動反応を追跡するとともに、界面の構造変化をその場追跡する。 e-mail: kondo.toshihiro@ocha.ac.jp		
教授 森 義仁 Professor MORI Yoshihito ☎ (5346)	複雑系分析化学 Analytical Chemistry of Complex Systems	【非平衡系化学】非線形領域の非平衡系の現象として特有のリズムまたはパターン形成の動的特徴の解析を実験または数値解析を用いて進める。非平衡化学の応用として自然環境問題を取り上げる。 e-mail: mori.yoshihito@ocha.ac.jp		
教授 相川 京子 Professor AIKAWA Kyoko ☎ (5345)	細胞機能化学 Cellular Biochemistry	【生化学、分子生物学】糖鎖とタンパク質の相互作用を分子レベルで理解することや、糖鎖結合タンパク質（レクチン）の生体内での機能を明らかにすることを目的に研究を行い、基礎医学や創薬への応用にも取り組む。 e-mail: aikawa.kyoko@ocha.ac.jp		
准教授 棚谷 綾 Associate Professor TANATANI Aya ☎ (2716)	超分子構造化学 Advanced Supramolecular Chemistry	【構造有機化学・医薬化学】芳香族有機分子の立体特性や集合体形成を基盤として、新規機能性分子を創製する。また、生理活性物質の設計、合成へと応用し、疾患治療を目指すケミカルバイオロジー研究をおこなう。 e-mail: tanatani.aya@ocha.ac.jp		
准教授 矢島 知子 Associate Professor YAJIMA Tomoko ☎ (5715)	機能性有機化学 Functional Organic Chemistry	【合成有機化学・有機フッ素化学】新規有機合成法を開発し、その手法を用いて合成した化合物の機能の探索を行う。特に有機フッ素化合物に着目し、医薬品、機能性有機材料等への応用を目指す。 e-mail: yajima.tomoko@ocha.ac.jp		
准教授 森 寛敏 Associate Professor MORI Hirotoshi ☎ (5718)	構造分子科学 Structural Molecular Science	【マテリアルズ・インフォマティクス】分子の振舞い（動的構造、機能）を精密かつ効率的に予測できる電子状態理論を開発し、材料科学および、生命科学の諸問題に応用する。特にd/f-ブロック元素を含む機能分子に着目し、大規模分子シミュレーションによる研究を実施する。これまでに未解明な分子機能の発現機構を明らかにすると共に、新たな分子機能の理論設計を目指す。 e-mail: mori.hirotoshi@ocha.ac.jp		
講師 * 伊村 くらら Lecturer IMURA Clara ☎ (5291)	ナノ界面化学 Nano-Interfacial Chemistry	【機能性ナノ材料、コロイド・界面化学】界面化学の視点から、触媒材料、光学材料へとつながる金属ナノ結晶の形態制御とその機構解明を行う。さらに、分子間相互作用にもとづく低分子化合物とのハイブリッド材料を構築し、分野横断的なアプローチからの新規な機能性開拓にも積極的に取り組む。 e-mail: imura.clara@ocha.ac.jp		
講師 * 三宅 亮介 Lecturer MIYAKE Ryosuke ☎ (2649)	構造分子科学 Structural Molecular Science	【錯体化学・超分子化学】金属錯体をデザインし、さらに構造変換に基づき物性変換することにより省エネルギー・高効率の機能創出を目指しています。分子レベルでの観測・理解に基づいて、精密な機能設計・制御を行います。特に構造特性やデザイン性に着目してペブチド金属錯体結晶を軸に研究を進めています。 e-mail: miyake.ryosuke@ocha.ac.jp		
情報科学領域 Computer Science				
教授 河村 哲也 Professor KAWAMURA Tetsuya ☎ (5394)	環境情報論 Environmental Information	【計算流体力学】流体力学の諸問題を計算機を使ってシミュレーションすることにより解析している。特に現在は、自然環境や地球環境問題に興味をもち、計算流体力学的手法による現象の解析を試みている。 e-mail: kawamura@is.ocha.ac.jp		
教授 吉田 裕亮 Professor YOSHIDA Hiroaki ☎ (5386)	非可換解析論 Noncommutative Analysis	【非可換解析学】非可換解析学とは、量子系を記述する数学的な道具である。非可換解析学において、中心的な役割を果たす作用素環論。最近では特に、作用素環上で考えられる非可換確率論に関連した研究を行っている。 e-mail: yoshida@is.ocha.ac.jp		
教授 椎尾 一郎 Professor SIIO Ichiro ☎ (5398)	ヒューマン・コンピュータ・インタラクション論 Human-Computer Interaction	【ヒューマンインタフェース】コンピュータが日用品になり、ユビキタスな存在になるに従い、人とコンピュータのインタラクションが大きく変化しつつある。そこで、日常生活におけるコンピュータ利用の可能性と新しいインタラクション手法を研究する。 e-mail: sio@is.ocha.ac.jp		
教授 小口 正人 Professor OGUCHI Masato ☎ (5379)	情報ネットワーク論 Information Network	【ネットワークコンピューティング】ネットワークにより接続された種々の計算機資源を互いに連携させ、高度なデータ処理を行うためのネットワークコンピューティング・ミドルウェアの研究を行う。 e-mail: oguchi@computer.org		
教授 浅本 紀子 Professor ASAMOTO Noriko ☎ (5382)	コンピュータ援用論 Computer Aided Instruction	【情報数学】自然や社会の現象の解析において計算機を使ったアプローチを行う。数式処理系の現象理解への応用や、知識獲得の過程における計算機による支援を研究する。また教育現場とくに遠隔教育での計算機やネットワークによる支援を研究する。 e-mail: asamoto@is.ocha.ac.jp		
教授 小林 一郎 Professor KOBAYASU Ichiro ☎ (5708)	知能情報処理論 Advanced Intelligent Information Processing	【知能情報処理、言語情報処理】近年、知的といわれるコンピュータシステムをつくるのに、言語など様々なモダリティがメディアとして活用され、その役割が大きくなってきている。本講義では知的な情報サービスを実現するために言語を中心とするメディアがどのように表現され、知的な情報処理として利用されるのかについて考察する。また、Web上などで実現されてきている意味を対象にした情報処理技術についても議論する。 e-mail: koba@is.ocha.ac.jp		
教授 伊藤 貴之 Professor ITO Takayuki ☎ (5700)	画像情報論 Visual Informatics	【ビジュアルコンピューティング】画像技術に関する先進的な研究を行う。例として、情報可視化、画像認識、写実的画像生成、3次元形状モデリング、音楽情報やテキスト情報と融合したマルチメディア画像技術、などに着目する。 e-mail: itot@is.ocha.ac.jp		
准教授 浅井 健一 Associate Professor ASAI Kenichi ☎ (5388)	プログラム変換論 Program Transformation	【プログラミング言語】部分評価を始めとするプログラム変換、部分継続の理論と応用、型理論、プログラムの正当性の証明、自己反映言語など、おもに関数型言語に軸をおいたプログラミング言語の理論と応用について研究を行っている。 e-mail: asai@is.ocha.ac.jp		
准教授 戸次 大介 Associate Professor BEKKI Daisuke ☎ (5378)	情報構造解析論 Advanced Applied Analysis	【数理言語学】自然言語の、主に統語論、意味論、語用論に対して、記号論理、ラムダ計算、圏などの数理論理的アプローチを用いた分析を行っている。 e-mail: bekki@is.ocha.ac.jp		
准教授 工藤 和恵 Associate Professor KUDO Kazue ☎ (5380)	統計数理論 Statistical Mathematics	【数値計算・統計力学】統計力学で扱われる問題は、幅広い。その中でも、特に量子ダイナミクスや非平衡系のパターン形成の問題を、主に数値計算を用いて研究している。 e-mail: kudo@is.ocha.ac.jp		
准教授 郡 宏 Associate Professor KORI Hiroshi ☎ (5363)	数理生命科学論 Mathematical Biology	【複雑系科学】生命活動や生命機能について数学的に研究しています。（確率）微分方程式、線形代数、グラフ理論が主な道具です。 e-mail: kori@is.ocha.ac.jp		
〔教授 番 雅司〕	非可換解析論 Noncommutative Analysis	理学専攻 物理科学領域 統計物理学に同じ		
〔准教授 北島 佐知子〕	非可換解析論 Noncommutative Analysis	理学専攻 物理科学領域 統計物理学に同じ		

(注1) ◎は、平成31年度末をもって退職予定であり、○は平成32年度末をもって退職予定である教員である。

*は、平成31年度は研究指導を行わない教員である。
なお、平成30年度末(平成31年3月31日付け)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) [] は、他領域の兼任教員である。